

2/19 (火)

米国とアイルランドから来日 - 特別シンポジウム -

「キラーロボットのない世界にむけて」

キラーロボットとも呼ばれる自律型致死兵器システム (LAWS) は、人間の介入・操作なしに攻撃目標を定め人を殺傷することができる AI 兵器です。核兵器に次ぐ兵器革命をもたらすと警告される LAWS は、いまだ実戦投入はされていないものの、米国やロシアなど十数カ国が開発中で、近い将来の実戦利用が懸念されています。こうした動きを前に、LAWS の規制のための国際会議が開催され、市民社会側からも世界的な NGO の連合体「キラーロボット・反対キャンペーン」が中心となり、実戦投入前に禁止条約の策定を呼びかけるなどの国際的な動きが進んでいます。本シンポジウムでは、LAWS の規制に向けたアジア地域会合が本年 2 月に日本で開催されるのを機に、「キラーロボット・反対キャンペーン」の創設者らを講師に迎え、最新の禁止運動の現状や課題について講演いただきます（講演内容は同時通訳されます）

登壇者



米ニュー・スクール大学メディア学部准教授。スタンフォード大学法科大学院客員研究員。ロボット兵器規制国際委員会共同設立者・副会長。専門はメディアと科学に関する社会哲学、人工知能、ロボット、デジタル・メディアの相互作用



ロボット兵器規制国際委員会委員。ダブリン大学トリニティー校にて学士号取得（コンピューターサイエンス）。ソフトウェア・エンジニアとして 15 年以上の経験をもつ。元 Google 欧州本社のエンジニア。アイルランド在住

Peter Asaro (ピーター・アサロ) 氏

Laura Nolan (ローラ・ノラン) 氏

司会

長 有紀枝（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授、難民を助ける会 理事長）

【日 時】2019 年 2 月 19 日 (火) 18:30 – 20:30

【会 場】立教大学 池袋キャンパス マキムホール M201 教室

(東京都豊島区西池袋 3-34-1)

池袋駅西口より大学正門まで徒歩約 7 分、丸ノ内線 / 有楽町線 / 副都心線 池袋駅西口より

大学正門まで徒歩約 7 分、有楽町線 / 副都心線 要町駅 6 番出口より大学正門まで徒歩約 6 分

【参加費】無料

【定 員】200 人（申し込み不要、当日会場にお越しください）

【主 催】立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所

【共 催】キラーロボット反対キャンペーン、AAR Japan [難民を助ける会]

【問い合わせ】AAR Japan [難民を助ける会] 担当：櫻井、高木

HP : www.aarjapan.gr.jp

TEL : 03-5423-4511 (電話受付時間：月～土 10:00 ~ 18:00)



CAMPAIGN TO STOP
KILLER ROBOTS



AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan
認定NPO法人 難民を助ける会